

古代東アジアの海のネットワーク



琉球

アイヌと

つないだ、

交易品が

YouTube
ライブ配信

2022年7月31日(日)

15:00~16:30



話し手

蓑島 栄紀 (みのしま ひでき) さん

北海道大学アイヌ・先住民研究センター /
大学院文学院アイヌ・先住民学研究室 准教授
アイヌ史、日本・北東アジア古代史

お申込み 詳しい情報・事前申込み・当日参加方法は
下記 URL か QR コードでご案内しています
<https://www.let.hokudai.ac.jp/event/19722>
※お申込みいただいた方に、視聴 URL をお知らせします

主 催 北海道大学 大学院文学研究院・人文学カフェ企画ワーキンググループ

連 絡 先 北海道大学 大学院文学研究院 研究推進室
TEL: 011-706-4083 Email: kenkyu@let.hokudai.ac.jp



事前申込み制
(当日参加可能)

交易品がつないだ、アイヌと琉球

古代東アジアの海のネットワーク



古代の北海道島は、日本や中国などの近隣の王権・国家にとって、王・貴族・武士などの支配者層の欲する多彩な貴重品の産地でした。おもな交易品として、各種の動物の毛皮類や、コンブやサケなどの水産物のほか、高品位な矢羽根として珍重されたワシの尾羽根が脚光を浴びています。古代日本から「南島」と呼ばれた琉球列島も同様に、^{らでん}螺鈿原料として利用されたヤコウガイ、宋代の中国で火薬原料として膨大な需要のあった硫黄などの交易が目されています。こうした多種多様な産物の生産や交易は、アイヌ史や琉球史を根底から動かただけでなく、しばしば日本や中国、アジア・ユーラシアの歴史を左右する要因にもなりました。今回の人文学カフェでは、こうしたいくつかの交易品の流通に具体的に光をあてながら、それらがときには北方世界と南方世界を直接つなぎ、古代東アジアのグローバルなネットワークを構成する一部となっていたことをご紹介します。

話し手のプロフィール

養島 栄紀 (みのしま ひでき) さん

北海道大学アイヌ・先住民研究センター/
大学院文学院アイヌ・先住民学研究室 准教授
アイヌ史、日本・北東アジア古代史

1972年神奈川県生まれ。國學院大學大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(歴史学)。苫小牧駒澤大学への勤務を経て2014年より現職。専門はアイヌ史、日本・北東アジア古代史。著書に『古代国家と北方社会』(吉川弘文館、2001年)、『「もの」と交易の古代北方史—奈良・平安日本と北海道・アイヌ』(勉誠出版、2015年)、編著に『アイヌ史を問いなおす—生態・交流・文化継承』(勉誠出版、2011年)など。



北大文学カフェとは

北大文学カフェは、北海道大学大学院文学研究院・文学院の研究者と、飲み物を片手に気軽に語り合うイベントです。内容は哲学、歴史学、文学、社会学、心理学などさまざま。人文学・人文社会科学研究の楽しい話題を通して、みなさんと北大文学研究院との交流を深めていくことを目指しています。

お問い合わせ先

北海道大学 大学院文学研究院 研究推進室
〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
TEL 011-706-4083
Email kenkyu@let.hokudai.ac.jp
<https://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>